



# YES 通信

〒819-1116 糸島市前原中央2-2-22波多江ビル2F 電話 321-4119 2025年11月号

## 「読書離れ」が進む日本の子どもたちへ

先日、講師の九大生が「お母さんから送つて来る本が読まつたのだ、何とか時間を作つて読まないといひかばこ」と郵便で話してきました。やの講師は文系の学生です。九州大学の文系と言えば、国語力に關じては全国的にもかなり高いレベルの学生にあたります。そのお母様は子どもが小さい頃から今まで、読んでおいた方が良いといつ本を案内し、子じももそれを読んでいいという関係性がを羨ましく思いました。素晴らしい教育だと感心しました。

最近の調査によると、小学生の半数以上が「兎に1冊も本を読まない」と答えたといつです。これは私たち教育に関わる者にとって、非常に深刻な数字です。読書は単なる趣味や娯楽ではなく、「言葉の力」「物語れる力」「感じ取る力」を育む、すべての学びの土台だといつです。

文字に触れる機会が減るといつとは、想像力や語彙力の低下だけでなく、「自分の頭で考える」時間の減少にもつながります。スマートフォンや動画、ゲームなど、情報が一瞬で手に入る時代だからこそ、子どもたちは「ゆっくり読みこなす」「自分のペースで理解する」などの力を失いつつあります。読書には、他の気持つを想像する力を育てるといつ大きな利点もあります。物語の登場人物の気持つを追体験するといつ、子どもたちは自然と「共感

力」を感じつけます。これは、ペーパードジタルでは代替できない、人との大切なもので、社会での人間関係やコワーキングーションの基礎にもなる力ではあります。

また、読書は「国語力」だけではなく、他教科の理解にも深く関わっています。たとえば算数の文章問題を正確に読み取る力、理科の実験説明を理解する力、社会の出来事を背景として解説する力等、すべては「読み解き」に支えられています。つまり読書習慣のある子どもほど、学力全体が底上げされる傾向にあります。

一方で、現代の子どもたちに「本を読みなさい」と言つただけでは、なかなか行動にはつながりません。本に触れる「きっかけ」と「環境」を整えねばなりません。本に触れる「きっかけ」と「環境」を整えねば、親子で一緒に図書館へ行くが大切です。たとえば、親子で一緒に図書館へ行く、寝る前に10分だけ読書タイムを作る、親御さんが自分の読書体験を語つて聞かせる。それだけで子どもたちの心に「本って樂しそう」と感じの瞬間が生まれます。

また、最近の児童書には、子どもたちの興味を引くトーマやピジコアルが工夫された良書がたくさんあります。昔のように「活字ばかりの本」でなくして、も構いません。マンガ形式や図鑑、ストーリー性のある科学本など、「読むはじの樂しさ」からの入つて



力」を身につけます。これは、ペーパードジタルでは代替できない、人との大切なもので、社会での人間関係やコワーキングーションの基礎にもなる力ではあります。

また、読書は「国語力」だけではなく、他教科の理解にも深く関わっています。たとえば算数の文章問題を正確に読み取る力、理科の実験説明を理解する力、社会の出来事を背景として解説する力等、すべては「読み解き」に支えられています。つまり読書習慣のある子どもほど、学力全体が底上げされる傾向にあります。

一方で、現代の子どもたちに「本を読みなさい」と言つただけでは、なかなか行動にはつながりません。本に触れる「きっかけ」と「環境」を整えねばなりません。本に触れる「きっかけ」と「環境」を整えねば、親子で一緒に図書館へ行くが大切です。たとえば、親子で一緒に図書館へ行く、寝る前に10分だけ読書タイムを作る、親御さんは自分の読書体験を語つて聞かせる。それだけで子どもたちの心に「本って樂しそう」と感じの瞬間が生まれます。

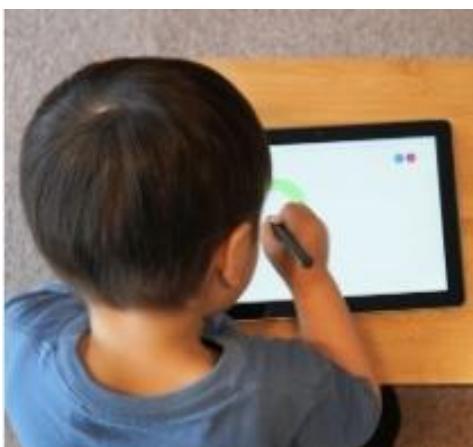
また、最近の児童書には、子どもたちの興味を引き出すトーマやピジコアルが工夫された良書がたくさんあります。昔のように「活字ばかりの本」でなくして、も構いません。マンガ形式や図鑑、ストーリー性のある科学本など、「読むはじの樂しさ」からの入つて

いくのも大切です。大事なのは「読む習慣」をつけなければなりません。

# やる気相談室

わざわざ、トータル化の進展には多くの利点があつまつ。わからなことはやあぐい調べられぬ、映像で理解を深められたる部分のペースで専念してもよいし。したがて専門の助けの大さな力です。

しかし一方で、「四分で解説する」「試行錯誤する」機会が減つてしまふのがもやもやします。A一や検索に頼らすもよし、B一や検索に頼らすもよし、C一や検索に頼らすもよし、D一や検索に頼らすもよし、E一や検索に頼らすもよし、F一や検索に頼らすもよし、G一や検索に頼らすもよし、H一や検索に頼らすもよし、I一や検索に頼らすもよし、J一や検索に頼らすもよし、K一や検索に頼らすもよし、L一や検索に頼らすもよし、M一や検索に頼らすもよし、N一や検索に頼らすもよし、O一や検索に頼らすもよし、P一や検索に頼らすもよし、Q一や検索に頼らすもよし、R一や検索に頼らすもよし、S一や検索に頼らすもよし、T一や検索に頼らすもよし、U一や検索に頼らすもよし、V一や検索に頼らすもよし、W一や検索に頼らすもよし、X一や検索に頼らすもよし、Y一や検索に頼らすもよし、Z一や検索に頼らすもよし、



この数年で、子どもたちの学び方が大きく変化しています。

学校ではタブレットやデジタル教材が導入され、宿題もオンラインで提出するのが当たり前の時代になりました。A-Iを使って作文を作ったたりする」とも珍しくありません。私たち大人が経験した「鉛筆とノートの学習」と

「、『机のこなしやうなるのか』を翻ぐねじ  
じじゅ。その過程で子じもせ、自分の都合で  
を言葉にじ、世者に伝える力を養みまし。  
じじゅがバーが考へてくれる時代では、そ  
じを通りすじ、「結論だけ」を手に入れてし  
まつことができまし。便利であればある程  
ど、患者の筋肉が鍛えにくくなつてしまひ  
のじゅ。

「「知恵を出すまでの過程」を経験しないまま結果だけを取つてしまはしないか」とあるからです。

「アカロケのらじ番間」が、子どもの思ふ  
を深めます。

△一が出した答えを理解し、取捨選択し、自分の言葉で説明できる。それが本当に努力であり、将来社会で活躍するための力になります。

私たちの塾でも、子どもたちが「へや」「シタル」に振り回されず、おしゃれ「自分の考え方を整理するコール」として始かせるもののが、この指導を意識してこぎたこと思います。

△クノロジーの進化に負けない、「都合いい力」を、今しがち育てておこう。

# デジタル時代の子どもと学び



書籍紹介 ラッコの海を守れ！ メアリー・ホープ・オズボーン著

この本は、世界で1億5,000万部を超える大ベストセラーシリーズ「マジック・ツリーハウス」の最新54巻です。このシリーズは、読者が地理、歴史、科学などの知識を楽しく学べるエンタテインメント学習小説として知られていて、調べ学習や自由研究に最適な本です。今回の物語は、カリフォルニアの海・モントレ湾を舞台に、絶滅危惧種のラッコと豊かな海藻ケルブ林、生態系の危機、人間の活動が環境に与える影響を、冒険を通じて学ぶ内容となっています。小学生全学年向けに文字は大きく、漢字にふりがなも付いているので幅広い学年に読んでもらえる本となっています。知識と物語が融合したスタイルで、「読む」ことが学びになる構成となっています。学びになる本というと面白くない本が多いというイメージがありますが、大人の私が読んでもハラハラドキドキで面白かったので、そこが、このシリーズがこんなにも長く続いている理由なのだと感じました。この本では特に環境問題や生物多様性など、社会的テーマへの興味を喚起できる内容になっていました。本の最後に、調べ学習・自由研究のための探検ガイドというのが書かれています。これが、学習上とても良い働きをすると思いますので、調べ学習や自由研究の際に活用されると良いと思いました。